

三次市議会議長 様

視察等報告(復命)書

報告者氏名 宍戸 稔



下記のとおり、研修が終了したので報告します。

		会派代表者	印	経理責任者	印
研修議員	宍戸 稔				
期 間	平成30年5月10日～11日				
研修先	東京都千代田区 明治大学アカデミーホール				
研修事項	日本自治創造学会研究大会				
研修内容	<p>講演「人生100年時代の人作り革命」高橋進 (株)日本総合研究所理事長 パネルディスカッション 若者たちの挑戦 人口減少社会の地域デザイン パネリスト 伊藤文弥 NPO法人つくばアグリチャレンジ副代表理事 横山太郎 Co-Minkan普及実行委員会共同代表・医師 李 植 NPO法人Learning for All代表理事 井上貴至 愛媛県市町振興課長 パネリスト兼コーディネーター 山崎 亮 (株)studio-L代表取締役</p> <p>講演「人生100年時代の政府の取り組み」菅 義偉 内閣官房長官 講演「これからの日本をどうする」佐々木信夫 中央大学名誉教授 講演「ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来」雄谷良成 社会福祉法人佛子園理事長 講演「空き家対策と活用策」伊藤明子 国土交通省住宅局長 講演「人口減少と対峙する地方議会」北川正恭 早稲田大学マニフェスト研究所顧問 講演「日本の目指す道」新藤義孝 元総務大臣</p>				
参考になった内容及び所見	<p>人生100年時代と言われる現在、これまでと同じ行政手法では解決できないことが起きている。人口減少社会に向き合う地域社会について、人生100年時代の地域デザインについて研修をした。</p> <p>パネルディスカッションで、地域課題解決を別次元での発想により行っている事例発表は新たな発見であった。障害と農業を結び付けて、野菜の有機栽培、契約販売で、障害者の自立への取り組み。子どもの貧困問題解決のため、優秀な熱意のある大学生を採用・育成し、教師として困難を抱える子どもたちを個別指導し、子どもたちの人生を変える教室の実現。</p> <p>行動経済学のシステムを地域活動に取り入れ、能動的な市民を育成、地域活動を盛り上げる。そのシステムとは、「イエス、アンド」いいね、更にこうすればの積み重ねていくこと。</p>				

研修等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 保実 治



下記のとおり、研修が終了したので報告します。

会派代表者		経理責任者	印
-------	--	-------	---

研 修 議 員	保実 治
期 間	平成30年 5月10日（木）～平成30年 5月11日（金）
研 修 先	第10回2018年度日本自治創造学会研究大会
研 修 用 務	人生100年時代の地域デザイン
研修先対応者	財団法人日本自治創造学会
概要及び所見	<p>1日目：講師：高橋進氏による社会保障改革等 パネルディスカッション ・伊藤文弥・横山太郎・李同植・井上貴至 講演：菅 義偉内閣官房長官 社会保障費 44 兆円毎年 1 兆円に膨らみ続ける。</p> <p>2日目：講師：佐々木信夫氏によるこれからの日本をどうする。 説明：伊藤明子国土交通省住宅局長による「空き家対策と活用 策」について 講演：新藤 義孝氏による「日本の目指す道」 地方創生・教育再生・積極的平和外交 講演：北川 正恭氏による「人口減と対峙する地方議会」 講演：雄谷 良成氏による「ごちゃませ」多様性の地域づくり</p>

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山村恵美子



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視察議員	山村 恵美子			
期 間	平成30年5月10日（木）～平成30 年5月 11日（金）			
視 察 先	第10回2018年度日本自治創造学会研究大会			
視 察 用 務	人生100年時代の地域デザイン			
視察先対応者	財団法人日本自治創造学会			

5月10日

人生100年時代の人作り革命

講師：高橋 進（株日本総合研究所チェアマン・エメリタス）

- ①社会保障改革:全世代型社会保障の実現
医療・介護制度の抜本的改革
医療・介護サービスの産業化
- ②人づくり革命：少子化対策、教育改革
・人生100年時代構想=一億総活躍。人の能力を上げる。
 - ・女性の労働参加率M字カーブの解消
 - ・配偶者がいる女性の就業率アップ
 - ・全員参加型の社会=働き方改革
- ③生産性革命：潜在成長率の引き上げ
 - ・生産性向上のためのAIやロボット技術の更なる活用
 - ・労働条件・就業場所・の改革
 - ・課題=人材育成・教育・生涯を通じた人の能力開発
- ④地域活性化に向けた仕組みづくり=マクロとは別の取り組み

パネルディスカッション

若者たちの挑戦—人口減少社会の地域デザイン

パネリスト:伊藤文弥（NPO法人つくばアグリチャレンジ副代表理事）

横山太郎（Co-Minkan普及実行委員会共同代表・医師）

李同植（NPO法人LearningforAll代表理事）

井上貴至（総務省・現在愛媛県市町振興課長）

行革甲子園・8月・愛媛県にて開催

パネリスト兼コーディネーター

山崎亮（株studio-L代表取締役）

ディスカッション

地域で若者が活動しながら感じていることについて

・横山さん

悪かったこと・地域に入ること、上から目線と取られる。わからないまま、自分ペースで地域に押し付けた。

行政は一部の人にしかスポット当てない。名もしれず頑張っている人にこそ力を。

・井上さん

一度の失敗をたたいてしまう。許容範囲ない社会。

・伊藤さん

農業、知識のないまま飛び込んだ。地域の人から干渉された。それは、自分たちの説明不足から。

地域の理解を得ながら、進むこと必要。

・李さん

若気の至り、あったが、それでも地域から歓迎してもらうこと多い食堂の広がりについて。教育とセットで活動してきた。

本当に貧困に喘ぐ子供への支援になっているか今でも懸念する。

概要及び所見

八上100千円100政府の取組の

講演: 菅 義偉 内閣官房長官

社会保障費44兆円 毎年度1兆円膨らみ続ける

強い経済が必要

5年5ヶ月の取り組み=強くなった

雇用・5年間で251万人増

そのうち201万人女性就業。59万人の保育確保。

有効求人倍率全国1倍越え実現

アベノミクスさらに推進推していく

株価上昇は国民にとって重要。公的年金の運用益上昇。

成長戦略=①インバウンド・観光立国。・思い切って観光ビザ規制緩和

800万人から2800万人に増加・免税品拡充

②働き方改革

危機管理→北朝鮮のミサイル17発・核実験から国民の安心安全を守る

特定秘密保護法・平和安全保護法続ける→北朝鮮の非核化方向性始

めた。

地方の元気なくして国の元気無し。

5月11日

これからの日本をどうする

講演: 佐々木信夫 (中央大学名誉教授・株日本国づくり研究所理事長)

2020年以降の日本を誰も考えていない。

行政主導の社会主義国家になりつつある。

2000年からの地方分権始めたつもりだったが、地方創生についても中央集権下での上から目線の政策。国家戦略特区(特定の地域の規制緩和を総理が行う。本当に四国に獣医を増やすことが妥当であるか。一国の総理がやるべきことか。

急激な人口減少社会で、明治維新後、明治23年配置した4府県制度は機能しなくなった。都道府県の役割である広域行政はインフラ整備が進んだ今、小さな区割りが必要なくなった。

道州制により予算縮小を行うことで、増税は必要なくなる。一票の格差も解消できる。

統治権を落とし込むことで、地方分権を実現できる。

日本に1億2千万人の人口は必要か。日本国の定員は果たして今の状態が適正か。

経済が成熟した国は人口減少がトレンド。

ソフトインフラの整備。市町村を第1の政府と考える。

老いる東京。日本の最大のリスクになって行く。

空き家対策と活用策

説明: 伊藤 明子 (国土交通省住宅局長)

- ・都道府県の空き家率・空き家対策の方向(地域特性に応じた対策)
- ・空き家対策の概要・空き家対策等の推進・安心R住宅について
- ・新たな住宅セーフティネット制度の枠組み・農地付き空き家の活用促進
- ・建築基準法の一部を改正する法律案の概要・所有者不明土地の円滑化等に関する特別法案

日本の目指す道

講演:新藤 義孝 (元総務大臣・衆議院議員)

目指すべき社会:・一億総活躍社会・アベノミクス第2ステージ・暮らしの安全
・地方創生・教育再生・積極的平和外交

平和外交

人口減と対峙する地方議会

講演:北川正恭 (早稲田大学マニフェスト研究所顧問・元三重県知事)

改革は地方から

しかし、国の補助に頼る体質は変わらない。変わらなくては、

自治体が動かない。→議会こそが先導すべき。

1回も秘訣権を行使しない議会はいらない
議会不要論が広がること避けられない。

決定権は議会にある。

政務活動費は適正にしっかり使われるべき
条例制定機能を発揮する。

執行部と議会の対等な関係

議会基本条例、必ず必要。

議長の舵取りの重要性。馴れ合いで選挙するべき
ポジションではない。

議長が中心になって、公教育をやる。子供たちの
意見を最大限尊重する。

議員数と議会事務局員数

政策立案のためにも議会事務局員・図書室の強化
必要。

ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来

講演:雄谷 良成 (社会福祉法人佛子園理事長)

「ごちゃまぜ」

多様性の地域づくり

全ての人には役割を持ち、地域が機能する。みんなが集う場所作り。

第三の医療=人と人とのつながりの健康メカニズム

事例:認知症の人と障害者のふれあいで、

双方とも障がい、症状の改善があった。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 重信 好範



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視察議員	重信好範			
期 間	平成30年5月10日(木)～平成30年5月11日(金)			
視 察 先	第10回 2018年度日本自治創造学会 研究大会			
視察用務	<p>第1日目 5月10日(木)</p> <p>講演 人生100年時代の人作り革命 講師 高橋 進(㈱日本総合研究所理事長)</p> <p>パネルディスカッション 若者たちの挑戦ー人口減少社会の地域デザイン</p> <p>講演 人生100年時代の政府の取組み 講師 菅 義偉(内閣官房長官・衆議院議員)</p> <p>第2日目 5月11日(金)</p> <p>講演 これからの日本をどうする 講師 佐々木 信夫(中央大学名誉教授・㈱日本国づくり研究所理事長)</p> <p>講演 ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来 講師 雄谷 良成(社会福祉法人佛子園理事長)</p> <p>講演 空き家対策と活用策 講師 伊藤 明子(国土交通省住宅局長)</p> <p>講演 人口減と対峙する地方議会 講師 北川 正恭(早稲田大学マニフェスト研究所顧問・元三重県知事)</p> <p>講演 日本の目指す道 講師 新藤 義孝(元総務大臣・衆議院議員)</p>			
視察先対応者	財団法人日本自治創造学会			

所

感

今回研修は パネルディスカッション

「若者たちの挑戦」人口減少社会の地域デザインのコーディネーターは
山崎亮氏だったり 内閣官房長 菅長官や新藤衆議院議員の講和も
聞きました

人口減少に対応する社会を作るために必要なことを多角的な視点から
今 国が進めようとしている方向性や地方とのあるべき関係性
地方議会で取り組むべきことや、地方議員として自分の位置を改めて
考えさせられた

同時 微力ながら取り組むことの意義も痛感しました